

平成29年度第1回三重県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
開催概要

1. 開催日時 平成29年8月8日（火） 10:00～12:00
2. 開催場所 三重職業能力開発促進センター 視聴覚室
3. 主な議題
 - ・平成28年度事業実施結果について
 - ・平成29年度事業進捗状況について
 - ・伊勢訓練センター部会報告について
 - ・その他

4. 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。各委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・ 離職者訓練について、一般求職者と技能・技術を習得した訓練修了生では、就職後の活躍状況にどのような差があるのかを調査・分析すると、訓練を受講することの意義を見出すことができるものと考えられる。雇用情勢が改善する中でも、職業訓練を受講する意義があることを明らかにして広報すべきではないか。
- ・ 人手不足の解消として、女性と高齢者の活用がポイントとなっている。女性の訓練生から、これまでの職歴や入所目的、就職希望職種などを調査・分析することによって女性求職者の需要を把握し、女性の入所促進を図ってほしい。
また、併せて、新規コースの設定や訓練内容の見直しを行い、女性や高齢者の入所の促進を図ってほしい。
- ・ 離職者訓練において、定員を超える応募があった科については、翌年度に定員数を増やすなど、ニーズに合せた柔軟な定員設定を検討してほしい。また、訓練の募集科名について、求職者にとって魅力的に感じるような見直しを検討してほしい。
- ・ 離職者訓練の定員を超える応募があった科については、辞退者が入所直前に生じる場合であっても、定員に空きが生じないように機会損失を防ぐための更なる対策を講じてほしい。
- ・ 三重県地域コンソーシアム事業について、電気工事業では、電気工事に関する

る資格取得等の従業員教育や、人手不足に悩んでいる事業所が多いものと考えられるので、事業主団体等の関係機関と連携協力して、課題解決に向けて取り組んでいくことを期待している。

- 働き方改革を進める上で、生産性向上は必要不可欠であり、生産性向上支援訓練には、それを担う役割が期待されている。今後、様々な意見を取り入れ、改善を加えながら、より良い訓練にしてほしい。

以上

平成29年度第1回三重県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

杉谷 克芳 (会長)	四日市大学経済学部准教授
増田 智恵	三重大学教育学部教授
笠原 正嗣	皇學館大学現代日本社会学部教授
内藤 康弘	三重労働局職業安定部長
山岡 哲也	三重県雇用経済部副部長
海住 真之	伊勢新聞社報道部係長
西場 康弘	三重県経営者協会専務理事
別所 浩己	三重県中小企業団体中央会事務局長
金森美智子	日本労働組合総連合会三重県連合会副会長
伊藤 公則	日本労働組合総連合会三重県連合会副事務局長
遠藤修一郎	三重県商工会連合会事務局長

順不同